

INFORMATION *Circular*

THE JAPANESE SOCIETY OF DEVELOPMENTAL BIOLOGISTS

<http://www.bcasj.or.jp/jsdb>

HP記事随時更新中(サーキュラーより早い)!
求人記事・集会案内記事大募集中!!

■日本発生生物学会公開シンポジウムのお知らせ.....	1
■日本発生生物学会第33回大会のお知らせ.....	1
■運営委員会議事録.....	2
■研究集会案内.....	5
■助成金、研究公募.....	8
■会員移動.....	13
■入会案内・広告掲載のお願い.....	19

NO.92

MAY 1999

日本発生生物学会

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学理学系研究科生物科学

会 長：〒 300 茨城県土浦市湖北 2 丁目 5 - 10
-0032 岡田益吉 (Tel: 0298-22-7348, Fax 兼用
e-mail: flyokada @ biol. tsukuba. ac. jp
drok7 @ da2. so-net. or. jp)

DGD 編集主幹：〒 739 東広島市鏡山 1 - 3 - 1
-0046 広島大学理学部遺伝子科学専攻
嶋田 拓 (Tel: 0824-24-7446)
(Fax: 0824-24-7498)
(e-mail: dgdedit @ ipc. hiroshima-u. ac. jp)

事務局：〒 192 東京都八王子市南大沢 1 - 1
-0397 東京都立大学大学院理学系研究科生物科学専攻
Fax: 0426-77-2559 (生物科学事務)
e-mail: jsdb @ bcasj. or. jp
(幹事 長) 八杉貞雄 (Tel: 0426-77-2572)
(庶務幹事) 福田公子 (Tel: 0426-77-2572)
(会計幹事) 西駕秀俊 (Tel: 0426-77-2573)

学会センター：〒 113 東京都文京区本駒込 5 - 16 - 9
-8622 財団法人 学会事務センター
日本発生生物学会担当係 (Tel: 03-5814-5810)

日本発生生物学会への入退会、住所・所属変更、会費納入、および出版物（インフォメーション・サーキュラーなど）の郵送については、上記の日本学会事務センターに書面でお問い合わせ下さい。なお DGD につきましては直接、ブラックウェルサイエンス社にお願いいたします (Fax: +61-39349-3016)。

サーキュラーへの投稿募集

日本発生生物学会サーキュラーは会員の皆様の情報誌として年 3 回発刊されます。学会に対する提言、研究雑感、実験手法、学会見聞記、関連学会案内、書評等どのような内容でも結構ですので、是非事務局にお寄せ下さい。

公開シンポジウム「発生が刻む時：細胞から進化まで」

日時：1999年5月28日、午前10：00より午後4：30まで

会場：東灘区民センターうはらホール（JR住吉駅に隣接）

主催：日本発生生物学会、 共催：甲南大学、 協力：財団法人ひょうご科学技術協会

午前：10：00～11：50

- ・近藤 滋（徳島大学）：魚の体表紋様の形成機構
- ・内匠 透（神戸大学）：生物時計の分子機構
- ・増井禎夫（トロント大学）：カエルの初期発生での細胞分裂と発生過程の時間調節

午後：13：00～14：40

- ・山田俊哉（メルボルン大学）：Making the difference with time: Molecular control of cell type diversity in the neural tube.
- ・Olivier Pourquie（マルセイユ発生生物学研究所）：A molecular clock linked to vertebrate segmentation.

休憩：14：40～15：10

午後：15：10～16：30

- ・林 茂生（国立遺伝学研究所）：Patterning mechanisms of the Drosophila limb and their implication for appendage evolution.
- ・Simon Conway Morris（ケンブリッジ大学）：The Cambrian explosion: Can we reconcile fossils and molecules?

脳死臓器移植・非核港湾宣言など最近話題の多い高知より「日本発生生物学会第33回大会」（2000年開催予定）のご案内を申し上げます。

1. 大会会期 平成12年5月25日（木曜日）～5月27日（土曜日）
2. 大会会場 高知県民文化ホール（主会場）
3. 大会準備委員長 川村 和夫（高知大学理学部生物学教室）
4. 講演の形態 シンポジウムとポスター発表

シンポジウムは1会場で実施し、3日間で5-7テーマを消化する予定です。各テーマは原則として、招待講演と一般公募講演より構成します。ポスター発表の会場は主会場の周辺に複数準備します。参加者の皆様には移動などで御不自由をおかけするかもしれませんが、気持ち良くご討論いただけるようにできる限りの工夫をします。

5. 今後の予定

6月、テーマの叩き台をホームページで公開（ご意見ご要望ウエルカム）。

10月、各テーマを最終決定。

各テーマの責任者を決定。

12月、高知大会のご案内（インフォメーションサーキュラー）。

参加申込の受付開始。

1999年度 日本発生生物学会運営委員会 議事録

日時：1999年1月30日（土）13:00～16:30

場所：東京都立大学 理学部棟 大会議室

出席者：竹市 雅俊（会長）

阿形 清和、浅島 誠、井出 宏之、上野 直人、岡野 栄之、笹井 芳樹、
高橋 淑子、中辻 憲夫、仲村 春和、仲村 春和、西田 宏記、藤澤 肇、
星 元紀、八杉 貞雄（運営委員）

嶋田 拓（DGD編集主幹）

団 まりな、川村 和夫（第32、33回大会準備委員長）

西駕 秀俊、福田 公子（事務局）

会長挨拶に引き続き、報告、審議に入った。

報告事項

①事務局報告（八杉幹事長）

会員数（1998年12月31日現在）

国内 正会員 1033名

学生会員 280名

賛助会員	6社
海外 正会員	45名
合計	1364名

②DGD編集委員会報告（嶋田編集主幹）

- ・1998年論文数：70。投稿数：107。採択率：75%。投稿数を増やし、もう少し採択率を下げたい。
- ・出版までの時間の短縮をめざし、印刷期間を短縮するようブラックウェル社と交渉する予定。
- ・カラー印刷費：1ページ目8万円→25,200円。2ページ目以降16,000円→8,000円。
- ・英文稿閲の必要のある原稿は、著者に戻し、稿閲後採択する。
- ・インパクトファクター：1.443（毎年上昇している。）
- ・毎号2報ずつレビューを載せたい。
- ・DGDの電子化（オンライン化）に際して会員の扱いを交渉中。
- ・DGDへの投稿を国際学会などで勧めて欲しい。
- ・レビューを書いて欲しい人を紹介して欲しい。

③第32回日本発生生物学会大会のお知らせ（団大会準備委員長）

- ・公開シンポジウム「発生の刻む時：細胞から進化まで」
5月28日（金）9：00～16：30
- ・1日目に総会、懇親会を行なうので注意して欲しい。
- ・今回は学会事務センター関西に業務を委託し、負担を軽くしている。
- ・今回は今まで通りの印刷した紙による申込とホームページによる申込を併用している。

④第33回日本発生生物学会大会のお知らせ（川村大会準備委員長）

- ・会期：2000年5月25日（木）～27日（土）
- ・会場：高知県立県民文化ホール・グリーンホール（大会総会・シンポジウム）
NTTプラザ（一般講演）
グリーン会館（一般講演）
- ・講演の形態：シンポジウム 5～7テーマを重ねずに行なう。演者は招待演者および一般公募演者。
ポスター ポスター発表演者が同一日の他の発表も見ることができるよう
に工夫したい。

- ・大会準備委員会：高知大学理学部物質科学科内

大会準備委員長 川村和夫

シンポジウム企画 藤原滋

協力：高知医科大学生物学教室 富永 明 先生

徳島大学工学部生物工学科 野地 澄晴 先生（依頼中）

愛媛大学理学部生物学教室 小南 哲也 先生

- ・ 6 月ごろホームページで大会素案を提案

↓

学会員との意見交換

↓

10月末にシンポジウムテーマ決定（座長決定）

↓

12月サーキュラーにて大会案内

⑤ISDB大会準備委員会報告（竹市準備委員長）

- ・ 会期：2001年7月8日～12日
- ・ 会場：京都国際会議場
- ・ DGD、Development、Dev.Biol.、Mech.Dev.に第1回広告を出し、そこにホームページアドレスを載せる予定

⑥学術会議報告（星委員）

- ・ 国家公務員I種「生物」の採用者数が増えた。
- ・ 研究環境に関する報告を近く答申する予定。

審議事項

①会計報告（西駕）

- ・ 1998年度決算案報告
- ・ 1999年度予算案提案

5月の総会にかけることが承認された。

②ホームページ委員会について

学会としてホームページを作成し、ホームページ委員会にその管理を委嘱することが提案され、承認された。ホームページ委員会の規則を会則に盛り込むことが提案され、5月の総会にかけることが承認された。

③会計監査委員の選出について

会計監査委員として、東京都立大学大学院理学研究科 中藤 博志会員が提案され、承認された。

④その他

- ・細胞生物学会との将来における協力関係について

細胞生物学会の広川会長から発生生物学会との将来における協力関係の提案があったことが伝えられ、議論された。

- ・ゲノムプロジェクトについて

アメリカにおける実験動物に対するシステムティックなゲノムプロジェクトに対し、発生生物学会としてはどのような意見があるかが議論された。

第2回日本組織工学会開催案内

第2回日本組織工学会が、平成11年6月25日（金）、26日（土）に東京都立大学国際交流会館で開催されます。プログラムは以下の通りです。

平成11年6月25日（金）：

11:10-12:10 一般講演

13:00-15:00 シンポジウム（1）「腸管の構築と再構築」（オーガナイザー：八杉貞雄）

- （1）八杉 貞雄（東京都立大学理学研究科）「臓器再構築のモデルとしての腸管」
- （2）福田 公子（東京都立大学理学研究科）「消化器官形成の遺伝子プログラム」
- （3）深町 博史（東京大学大学院理学系研究科）「消化管形成における上皮・間充織相互作用と増殖因子の役割」
- （4）玉井 淑貴¹、中島 玲子¹、石川 智夫¹、高久 和明¹、M. F. Seldin²、武藤 誠³
（¹萬有製薬つくば研究所、²U. C. Davis、³東京大学薬学部）「Cdx2 ノックアウトマウスにおける過誤腫とその原因となる腸管の発生異常について」
- （5）清水 慶彦（京都大学再生医科学研究所）「コラーゲン3次元マトリックスを用いたイヌ食道の再生」

15:30-17:30 一般講演

17:30-19:00 懇親会（国際交流会館レストラン）

平成11年6月26日（土）：

10:00-12:00 シンポジウム（2）「細胞機能制御分子としての細胞外マトリックスとマトリックス工学」（A会場）（オーガナイザー：畑 隆一郎）

- (1) 畑 隆一郎（東京医科歯科大学難治疾患研究所）「はじめに」
- (2) 深井 文雄（東京理科大学薬学部）「フィブロネクチン分子内の反接着活性部位とその機能」
- (3) 野水 基義（北海道大学地球環境科学研究科）「ラミニンの生物活性機能部位の解明」
- (4) 平井 洋平（住友電工バイオメディカル研究部）「エピモルフィンと乳腺の形態形成」
- (5) 関口 清俊（大阪大学蛋白質研究所）「フィブロネクチン自己会合ドメインを利用したマトリックス工学」

13:30-14:30 特別講演：「培養人工臓器に対する社会的要請と問題点」上田 実（名古屋大学医学部）

15:00-18:00 シンポジウム（3）「動物クローニング、ES細胞、細胞臓器移植の展望と問題点」（一般公開シンポジウム）（オーガナイザー：中辻 憲夫）

（挨拶）八杉 貞雄（東京都立大学理学研究科）

- (1) 中辻 憲夫（京都大学再生医科学研究所）「ヒトES細胞株の意義と今後の展望」
- (2) 高橋 淳（京都大学医学研究科）「神経系幹細胞を利用した中枢神経系機能の再生」
- (3) 角田 幸雄（近畿大農学部）「核移植による動物クローニング」
- (4) 浅島 誠（東京大学総合文化研究科）「未分化細胞からの組織および臓器の構築」
- (5) 米本 昌平（三菱化学生命科学研究所）「倫理的問題をどう考えるか」

参加一般講演の募集はすでに締め切りました。参加希望者は、参加費（会員、3,000円；非会員、5,000円）を下記の郵便振り替え口座に振り込んで下さい。その際、所属、氏名を明記して下さい。当日参加費はそれぞれ4,000円、6,000円です。懇親会費は5,000円の予定で、当日受け付けます。なおシンポジウム（3）は一般公開シンポジウムですので、参加費は無料です。

連絡先：192-0397 東京都八王子市南大沢1-1、東京都立大学大学院理学研究科生物科学専攻、第2回日本組織工学会準備委員会（八杉貞雄）。

電話：0426-77-2572、ファックス：0426-77-2559、Email: yasugi-sadao@c.metro-u.ac.jp。

郵便振り替え：00110-9-104750（第2回日本組織工学会）。

学会事務局：464-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65、名古屋大学医学部口腔外科学講座、日本組織工学会事務局。

電話：052-744-2348、ファックス：052-744-2352。

学会ホームページ：<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hp/oral/jste/index.html>。

日本組織細胞化学会第40回記念学術集会 —組織細胞化学の基礎技術から臨床まで—

会 長 井端 康彦（京都府立医科大学第二解剖学教室教授）

副会長 福居 顕二（京都府立医科大学精神医学教室教授）

会期：1999年12月6日（月）、7日（火）

会場：宝ヶ池 国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池 TEL:075-705-1234 FAX:075-705-1100

特別講演：Ⅰ．神経伝達の分子機構 中西重忠 先生（京都大学）

Ⅱ．癌転移の分子機構 広橋説雄 先生（国立がんセンター）

シンポジウム：神経の発達と分化

神経伝達物質の受容体とシグナル伝達

生体リズムと時計遺伝子の発現および時計機構の障害

細胞間コミュニケーションにおける組織細胞化学

遺伝子診断-基礎から臨床まで-

組織細胞化学の臨床への応用

細胞生物学における組織細胞化学

アポトーシス

癌診断における新しいマーカー

組織細胞化学の病理診断への応用（感染症、シグナル増強を含む）

器官再形成を組織細胞化学はどこまで追求できるか

糖鎖の組織細胞化学

ワークショップ：イメージング（コンフォーカルマイクロスコープを含め）

in situ hybridizationを中心として

green fluorescent protein (GFP)の応用

一般演題：演題申込締切は1999年9月15日です（当日消印有効）。発表形式はすべて示説（ポスター）です。参加・発表ご希望の方は、下記実行委員会まで御連絡ください。必要書類をご送付致します。

連絡先：日本組織化学会第40回記念学術集会実行委員会

〒602-8566京都市上京区河原町通広小路梶井町465

京都府立医科大学第2解剖学教室内

TEL:075-251-5302 FAX:075-251-5304

第16回井上学術賞、井上研究奨励賞 受賞候補募集

財団法人 井上科学振興財団

第16回井上学術賞

自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた50歳未満の研究者に対し、学術賞（賞状および金メダル、副賞200万円）を贈呈する。

受賞件数：五件以内

学会推薦が必要

推薦締め切り日：平成11年8月20日（財団締切り9月20日）

照会先：（財）井上科学振興財団

〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町11-20

電話03-3477-2738

FAX03-3477-2747

第16回井上研究奨励賞

平成8～10年度の過去3年間に、理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した35歳未満の研究者で、自然科学の基礎的研究において新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出した研究者に、賞状および研究奨励金50万円を贈呈

する。

受賞件数：30件

募集方法：博士論文を指導した研究者の推薦に基づき、学位を授与した大学の学長からの推薦

募集締め切り日：平成11年9月20日

照会先：（財）井上科学振興財団

〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町11-20

電話03-3477-2738

FAX03-3477-2747

公益信託 成茂動物科学振興基金の募集 平成11年研究助成

1. 助成の対象：基礎的な動物科学の研究
2. 助成の内容：上記研究に対し、助成金を交付する。
3. 助成金額：300万円。一件につき100万円以下とする。助成金は、備品、消耗品、謝礼、国内旅費などのほか国外旅費にも使用することができる。
4. 応募方法：所定の研究助成申請用紙に必要事項を記入して、下記事務局に直接申し込む。
5. 応募締め切り：平成11年7月19日必着。
6. 申請用紙は、返信用封筒（A4版）を同封の上、下記宛請求する。

公益信託 成茂動物科学振興基金事務局

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱信託銀行本店営業部

公益信託推進室 担当 小林

日産学術研究助成に関する審査結果

日産科学振興財団より第25回（平成10年度）日産学術研究助成に発生物学会からの推薦の内、以下の方々の採用の報告がありました（敬称略）。

京都大学再生医学研究所教授 笹井 芳樹

京都大学・院・理・瀬戸臨海実習所助手 和田 洋

公益信託・團生物科学国際基金 平成12年度助成先公募

1. 助成の対象：生物科学（発生物学、細胞生物学、分子生物学等）の研究にたずさわっている若手研究者を対象とし、申請時に原則として37歳以下とし、国籍は問わない。

2. 研究助成金：平成12年4月～平成13年3月出発のものを対象とする。総額400万円

①長期（3ヶ月程度）の国際共同研究のための旅費と滞在費（1名当り90万円以下）。

②短期（1ヶ月程度）の国際共同研究のための旅費と滞在費（1名当り50万円以下）。

③国際研究集会参加のための旅費と滞在費（1名当り50万円以下）。

3. 応募方法：所定の用紙ならびに応募要項の詳細は当公益信託事務局にハガキで請求のこと。（注、長期、短期、国際集会の区別を必ず明記のこと）。

4. 申込締切日：平成11年10月31日（必着）。

5. 選考の方法：当公益信託運営委員会において選考する。

6. 採否の通知：平成11年12月に採否を通知する。

7. 事務局：〒103-8266 東京都中央区日本橋3-1-8

日本信託銀行株式会社本店営業第三部営業第一グループ

公益信託團生物科学国際基金 担当： 浅川 さか江

TEL（03）3245-8140

FAX（03）3245-8339

なお、今回の助成をもちまして、助成事業は終了の予定です。

(財)加藤記念バイオサイエンス研究振興財団
第 1 1 回加藤記念海外派遣助成募集
海外の学会で発表する若手研究者への援助

1. 助成対象者：平成 1 1 年 4 月 1 日から平成 1 2 年 3 月 3 1 日の期間に海外で開催されるバイオサイエンス分野の学会、シンポジウム等で研究発表を行なう日本国内在住の研究者。
2. 申込資格：応募締切日に 3 5 歳以下の方（医学系の大学卒業者は 3 7 歳以下の方）。
3. 助成内容：所要経費の一部を援助する。
4. 助成金額：総額 7 5 0 万円
5. 援助件数：3 0 件程度（前期；2 0 件程度、後期；1 0 件程度）
6. 応募方法：当財団所定の申請要旨に必要事項を記入の上、当財団に直接申し込む。
7. 応募締切：前期；4 / 1 ~ 9 / 3 0 に発表される方は、平成 1 1 年 5 月 3 1 日。
後期；1 0 / 1 ~ 翌 3 / 3 1 に発表される方は、平成 1 1 年 8 月 3 1 日。
8. 審査方法：当財団の専攻委員による審査の上、評議員会議長および理事長の承認を得て決定。
9. 申請書の請求先：下記あて「はがき」または「ファクシミリ」にて請求。

連絡先：（財）加藤記念バイオサイエンス研究振興財団

住所：〒194-8533 東京都町田市旭町 3-6-6

電話：042-725-2576

FAX：042-722-8614

担当：松浦 智佳子

平成11年度

東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者募集

財団法人 東レ科学振興会

東レ科学技術賞（概要）

1. 候補対象：本学会に関する分野で、下記に相当するもの
 - (1) 学術上の業績が顕著なもの
 - (2) 学術上重要な発見をしたもの
 - (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - (4) 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
2. 科学技術賞：2件前後。1件につき、賞状。金メダルおよび賞金500万円
3. 候補者推薦件数：各学会から2名以内
4. 締め切り日：平成11年9月8日（財団締め切り10月8日）

東レ科学技術研究助成

1. 候補対象：本学会に関する分野で国内の研究期間において基礎的な研究に従事し、今後の研究の成果が大きいと考えられる独創的、萌芽的研究活発に行っている若手科学者
2. 研究助成金：総額1億3千万円。1件3千万円程度まで10件程度。
3. 候補者推薦件数：各学会から2名以内
4. 締め切り日：平成11年9月8日（財団締め切り10月8日）

候補者推薦要領と推薦書用紙は6月頃学会事務局に届く予定です。

<新入会員> (氏名)		(所属)	〒	(住所)	(①テーマ・②材料)
(学)	大迫 麗子	東京大学大学院農学生 命科学研究科獣医解剖 学教室	113- 8657	文京区弥生1-1-1	①前精子発生期におけるマウス雄性生 殖細胞(Gonocyt)の増殖機構の解析 ②C57BL6/J mouse
(学)	上田 貴史	大阪大学歯学部第一口 腔外科	565- 0871	吹田市山田丘1-8	①上皮-間充織相互作用・唾液腺器官 発生 ②マウス
(学)	佐藤 有紀	奈良先端科学技術大学 院大学バイオサイエン ス研究科	630- 0101	生駒市高山町8916-5	①脊椎動物における体節分化のメカニ ズム ②ニワトリ
(学)	樺沢 勇司	東京医科歯科大学第2 口腔外科	113- 8549	文京区湯島1-5-45	①骨の発生・顔面の発生 ②ニワトリ・培養細胞
(学)	斉藤 芳和	北里大学理学部生物科 学科分子発生	228- 8555	相模原市地里1-15-1	①側板中胚葉の分化の仕組み ②ニワトリ胚
(学)	斎藤 理佳	日本女子大学	112- 0015	文京区目白台2-8-1	①神経発生 ②アフリカツメガエル
(学)	木村 純	名古屋大学理学部生命 理学研究科分子第5講 座	464- 8602		①limbで特異的に発現する遺伝子の探 索 ②Gallus gallus
(学)	近藤 美也子	名古屋大学理学部分子 生物学科	464- 8602	名古屋市千種区不老町	①形態形成 ②マウス
(学)	堤 聡	徳島大学歯学部	770	徳島市蔵本町3-18-15	①がん化機構の研究・再生医学・がん 化の分化誘導療法
(学)	水関 健司	京都大学医学研究科生 体情報科学	606- 8501		①分子神経発生生物学 ②Xenopus
(学)	三浦 克尚	熊本大学医学部遺伝発 生医学研究施設 発生 遺伝部門	862- 0976	熊本市九品寺4-24-1	①遺伝子トラップ
(学)	岸 将史	京都大学大学院医学研 究科生体情報科学	606		①神経発生学 ②脊椎動物
(学)	白石 洋一	名古屋大学理学部分子 生物学科	464- 8602	名古屋市千種区不老町	①ニワトリ胚芽形成の分子機構 ②ニワトリ
(学)	坂口 拓哉	名古屋大学大学院生命 理学			①中胚葉誘導・神経誘導 ②ゼブラフィッシュ
(学)	岡村 大治	鳥取大学医学部細胞工 学教室	683- 0826		①ヒトIGF2R(Receptor)遺伝子のマウ ス細胞内での発現様式の解析 ②A9細胞・ES細胞
(学)	高嶋 記子	国立精神神経センター 神経研究所	187- 0031	小平市小川東町4-1-1	①菱脳・脊髄における介在神経細胞分 化 ②R.rattus.
(学)	加藤 直子	秋田大学医学部生化学 第一	010- 8543		①心血管系の発生 ②マウス
(学)	岩崎 隆宏	広島大学理学部生物科 学科原生生物学講座	739- 8526	東広島市鏡山1-3-1	①細胞分裂・細胞増殖 ②ヒト培養細胞 (Hela)・ウニ卵
(学)	森 淳	鹿児島大学歯学部口腔 解剖学第一講座	890- 8544		①歯の発生学 ②スunks (ジャコウネズミ)・ナメ クジウオ
(学)	藺村 貴弘	鹿児島大学歯学部口腔 解剖学第一講座	890- 8544		①歯の発生学 ②スunks (ジャコウネズミ)・ナメ クジウオ
(学)	森 知美	山口大学理学部自然情 報科学科	753- 8512	山口市大字吉田1677-1	①ショウジョウバエ消化管の左右非対 称性 ②ショウジョウバエ

(学) 前川 真吾	奈良先端科学技術大学 院大学バイオサイエ ンス研究科分子発生生物	630- 0101	生駒市高山町8916-5	①ゼブラフィッシュにおける生殖細胞 形成 ②ゼブラフィッシュ
(学) 牧野 初音	奈良先端科学技術大学 院大学バイオサイエ ン	630- 0101	生駒市高山町8916-5	①形態形成 ②マウス
(学) 平手 良和	理化学研究所脳科学総 合研究センター	351- 0198	和光市広沢2-1	①神経分化制御因子Islet-3の下流標的 遺伝子の検索 ②ゼブラフィッシュ
(学) 石塚 泰啓	東大・院理・生物科学	113- 0033	文京区本郷7-3-1	①内胚葉誘導に関する研究 ②ウニ
(学) 将口 栄一	京都大学理学研究科生 物科学専攻	606- 8502	京都市左京区北白川追 分町	①棘皮動物胚の比較分子発生生物 ②主にイトマキヒトデ <i>Asterina</i> <i>Pectinifera</i> ・棘皮動物
(学) 大田 浩	大阪大学微生物病研究 所	565	吹田市山田丘3-1	①発生生物学 ②精原細胞移植
(学) 四宮 愛	新潟大学大学院自然科 学研究科	950- 2181	新潟市五十嵐2の町 8050	①魚類の性と生殖 ②メダカ
(学) 李 智博	神戸大学大学院自然科 学研究科	657- 8501	神戸市灘区六甲台町1- 1	①哺乳類卵の減数分裂における紡錘体 形成 ②ブタ・マウス
(学) 花岡 龍毅	慶應義塾大学大学院医 学研究科	160- 8582	新宿区信濃町35	①初期神経発生 ②ゼブラフィッシュ
(学) 西山 敦哉	東京工業大学生命理工 学部バイオサイエンス		緑区長津田町4259	①cdc2キナーゼの不活性化機構 ②アフリカツメガエル(<i>Xenopus</i> <i>laevis</i>)
(学) 山本 知美	東京工業大学生命理工 学部バイオサイエンス	226- 8501	緑区長津田町4259	①細胞分裂の細胞周期制御 ②アフリカツメガエル(<i>Xenopus</i> <i>laevis</i>)
(学) 斎藤 友昭	横浜市立大学分子発生 研究室	236- 0027	金沢区瀬戸22-2	①mouse精祖細胞の体外培養系の確立 ②spermatogonia, Sertoli cell
(学) 柴生田 葉子	島根大学	690- 8504	松江市西川津町1060	①無尾両生類の変態機構 ②アフリカツメガエル
(学) 島田 直子	奈良先端科学技術大学 院大学	630- 0101	生駒市高山町8916-5	①ニワトリ胚における水晶体分化コン ピテンスの解析 ②ニワトリ
(学) 秋月 美和	熊本大学医学部遺伝発 生医学研究施設発生遺 伝部門	862- 0976	熊本市九品寺4-24-1	①遺伝子トラップ法を用いた発生・分 化に關与する未知遺伝子の探索 ②マウス
(学) 横山 成俊	早稲田大学人間科学部 細胞生物学研究室	359- 1192	所沢市三ヶ島2-579- 15	①骨格筋発生における成長因子の作用 ②ニワトリ
(学) 辻岡 政経	京都大学	606- 8502	左京区北白川追分町	①細胞性粘菌 <i>Dictyostellium</i> <i>discoideum</i> において新たに見つけた タリン (taln) の機能解析 ②細胞性粘菌 <i>Dictyostellium</i> <i>discoideum</i>
(学) 千原 崇裕	国立遺伝学研究所系統 生物研究センター無脊 椎動物遺伝研究室	411- 8540	三島市谷田1111	①ショウジョウバエの気管形成に關す る研究 ②キイロショウジョウバエ <i>Drosophila melanogaster</i>
(学) 矢田 有加里	国立遺伝学研究所	411- 8540	三島市谷田1111	①マウス形態形成 ②マウス
(学) 来栖 光彦	筑波大学生物科学系古 久保研究室	305- 0006	茨城県筑波市天久保1- 1-1	①ショウジョウバエ脳発生 ②キイロショウジョウバエ (<i>Drosophila melanogaster</i>)

(学) 佐野 浩子	筑波大学生物科学研究科	305	つくば市天王台1-1-1	①ショウジョウバエにおける生殖細胞形成機構 ショウジョウバエ
(学) 鈴木 美穂	京都大学理学研究科動物学講座	606-8502	京都市左京区北白川追分町	①脊索の進化 ②ナメクジウオ
(学) 斉藤 大樹	東海大学海洋学部水産学科	424-8610	清水市折戸3-20-1	①発生生物学、形態形成、遺伝子発現 ②シロウオ <i>Leucopsarion petersi</i> 1
(学) 紙本 幹子	東海大学海洋学部海洋科学科	424-0901	清水市折戸3-20-1	①形態形成に関する遺伝子の解析 ②シロウオ
(学) 斎藤 憲司	東北大学大学院理学研究科	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉	①粘菌細胞における増殖/分化の切り換え機構の解明 ② <i>Dictyostellum discoideum</i>
(学) 稲津 祐司	東北大学大学院理学研究科生物学専攻	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉	①粘菌細胞における増殖/分化の切り換え機構の解明 ② <i>Dictyostellum discoideum</i>
稲垣 忍	大阪大学医学部保健学科神経生物研	565-087	吹田市山田丘1-7	①神経回路形成メカニズム ②マウス
志村 保雄	老人保健施設四季の里	490-11	愛知県海部郡大治町西条字柳原37-1	①両生類の変態（を研究していました）・形の発生分子生物学に関心を持っています。
伊庭 英夫	東京大学医科学研究所遺伝子制御寄付研究部	108-8639	港区白金台4-6-1	①軟骨分化・消化管分化・腫瘍形成・レトロウイルスベクター ②ニワトリ、肢芽、初代培養、器官培養
竹本 忠司	滋賀医科大学放射線基礎医学講座	520-2192	大津市瀬田月輪町	①神経発生・脳の進化 ②メダカ
亀田 隆	東京大学医科学研究所遺伝子制御	108-8639	港区白金台4-6-1	①軟骨分化・発癌・形態形成 ②ニワトリ、種々の培養細胞
高橋 宗春	東京大学医学部付属病院無菌治療部	113-8655	文京区本郷7-3-1	①脊椎動物の初期発生・器官形成 ②マウス
石井 照久	秋田大学教育文化学部	010-8502	秋田市手形学園町1-1	①動物の対軸と形態形成・無性生殖 ②ホヤ類・コケムシ類
仙波 伊知郎	鹿児島大学歯学部口腔病理学講座	890-8544	鹿児島市桜ヶ丘8-35-1	①神経堤細胞の中胚葉分化に関する転写因子制御 ②マウス
船橋 久幸	(財) 東京都老人総合研究所	173-0015		①神経細胞生物学 ②マウス・ラット
田中 公子	基礎生物学研究所	444-8585	岡崎市明大寺町字西郷中38	①ショウジョウバエ 脳神経発生 ② <i>Drosophila Melanogaster</i>
工藤 明	東京工業大学生命理工学部	226-8501	横浜市緑区長津田町4259	①骨形成 ②ゼブラフィッシュ・マウス
高田 達之	滋賀医大	520-2192	大津市瀬田月輪町	①哺乳動物の初期発生 ②マウス
谷井 一郎	宮崎医科大学解剖学第一講座	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	①生殖細胞の分化・受精のメカニズム ②マウス・ラット
重本 和宏	愛媛大学医学部衛生学教室	791-0295	温泉郡重信町志津川454	①神経発生 ②マウス
堀 麻希	広島大学理学部生物科学科	739-8526	東広島市鏡山1-3-1	①細胞分裂・細胞増殖 ②ヒト細胞 (Hela) ・ウニ卵
細谷 浩史	広島大学理学部生物科学科	739-8526	東広島市鏡山1-3-1	①細胞分裂・細胞増殖 ②培養細胞・ウニ卵
倉田 祥一郎	東北大学薬学部	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉	①器官アイデンティティの決定 ② <i>Drosophila</i>

瀬戸 由美	アロカ(株)第2技術 部分分析機器課	181- 8622	三鷹市牟礼6-221	
宮崎 敦子	三菱化学生命科学研 究所生命画像情報	194- 8511	町田市南大谷11号	①海産無脊椎動物の発生・細胞周期 ②イトマキヒトデ・テツイロナマコ・ マウス
晴まき 智美	工技院生命研	305- 8566	つくば市東1-1	①脳の発生 ②アフリカツメガエル
佐内 豊	東京都臨床医学総合研 究所生命情報研究部門	113- 8613	東京都文京区本駒込3- 18-22	①糖鎖生物学
田島 陽一	東京都臨床医学総合研 究所生命情報研究部門	113- 8613	東京都文京区本駒込3- 18-22	①糖鎖生物学・発生生物学 ②マウス・ヒト・ラット
小室 広昭	自治医科大学小児外科	329- 0498	栃木県河内郡南河内町 薬師寺3311-1	①器官形成と奇形に関する遺伝子 ②奇形を持った患者における遺伝子異 常の探索
康 勝植	国立遺伝研発生遺伝	411- 8540	三島市谷田1111	①ヒドラのpeptide性signal分子 ②ヒドラ
浅岡一田口 美穂	筑波大学生物科学系	305- 8572	つくば市天王台1-1-1	①ショウジョウバエにおける生殖細胞 形成機構 ②キイロショウジョウバエ (<i>Drosophila melanogaster</i>)
塩見 健輔	筑波大学基礎医学系	305- 0821	つくば市天王台1-1-1	①神経系の発生 ②ゼブラフィッシュ
山田 靖隆	熊本大学医学部遺伝発 生研発生遺伝部門			①神経堤細胞の発生分化 ②トランスジェニックマウス
中尾 啓子	Cornell University Medical college	10021	1300 York Ave., New York, NY 1002, USA	①ショウジョウバエ神経発生のメカニ ズムの解析 ② <i>Drosophila melanogaster</i> キイ ロショウジョウバエ
和田 浩則	理化学研究所・脳科学 総合研究センター	351- 0198	和光市広沢2-1	①神経発生 ②ゼブラフィッシュ
藤村 美由紀	福山大学工学部生物工 学科	729- 0292	福山市学園町1番地三 蔵	①生殖細胞の分化に関わる分子機構の 研究 ②カタユウレイボヤ <i>Ciona</i> <i>intestinalis</i>
駒口 智佳子	川崎医科大学分子生物 学	701- 0192	倉敷市松島577	①器官形成 ②ニワトリ
北嶋 聡	国立医薬品食品衛生研 究所	158- 8501	世田谷区上用賀1-18-1	①体節形成・発生工学 ②マウスEmbryo
中川 康史	Molecular Neurobiology Laboratory The Salk		10010 North Torrey Pines Road La Jolla, California 92037	①大脳皮質の発生と視床・大脳皮質軸 策経路の成立 ②マウス・ラット
小谷野 菜峰子	Molecular Neurobiology Laboratory The Salk Institute		10010 North Torrey Pines Road La Jolla, California 92037	①神経初期発生における遺伝子制御 ②アフリカツメガエル(<i>Xenopus</i> <i>laevis</i>)・ニワトリ

<会員資格変更>

学生→正会員

中田 勝紀	理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター分子神経生物学研究室	305-0074	つくば市高野台3-1-1
金 吉中	東京工業大学生命理工学研究科西田研究室	226-8501	緑区長津田4259

国内→海外

三瀬 名丹	Unite de Genetiquemoleculaire murine, Institut Pasteur		:25 rue du Dr.Roux, 75724 Paris, Cedex 15, France
要 匡	Molecular Genetics, Division of Biomed.Scis., Imperial Coll.Sch.of Med.		Sir Alexander Fleming Bldg., South Kensington, London SW7 2AZ, U.K

海外→国内

宮田 卓樹	大阪大学医学部神経機能解剖学研究部	565-0871	吹田市山田丘2-2
-------	-------------------	----------	-----------

除名→復活

吉田 章子	京都大学理学部動物学教室	606-8502	京都市左京区北白川追分町
-------	--------------	----------	--------------

<所属機関変更>

伊藤 啓	岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所細胞増殖部門	260-444-8585	岡崎市名大寺町西郷中38
開 祐司	京都大学再生医科学研究所生体分子設計学分野	606-8507	京都市左京区聖護院川原町53
仲嶋 一範	東京慈恵医科大学総合医科学研究センターDNA研分子神経生物部門	105-8461	港区西新橋3-25-8
片岡 裕子	島根医科大学整形外科学教室	693-8501	出雲市塩冶町89-1
佐々木 裕之	国立遺伝学研究所人類遺伝研究部門	411-8540	三島市谷田111
日向 昌司	国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部	158-8501	世田谷区用賀1-18-1
鍋島 陽一	京都大学大学院医学研究科病理系腫瘍生物学講座	606-8501	京都市左京区吉田近衛町
白吉 安昭	鳥取大学医学部生命科学科細胞工学講座	683-8503	米子市西町86
目崎 喜弘	兵庫県立工業技術センター開発部	654-0037	神戸市須磨区行平町3-1-12
山口 朗	長崎大学歯学部口腔病理	852-8588	長崎市坂本1-7-1
荒井 昭雄	放送大学中澤研究室	261-8586	千葉市美浜区若葉2-11

<所在地変更>

竹居 光太郎	科学技術振興事業団御子柴細胞制御プロジェクト	113-0021	文京区本駒込2-28-8 理化学研究所駒込分所内
笹井 芳樹	京都大学再生医科学研究所	606-8507	京都市左京区聖護院川原町53

＜退会＞

木本 安彦	野田 伸一	堀 令司	渡辺 洋子	平田 篤由	子林 孝司
松野 亨	山下 勝幸	大導寺 俊平	小野 裕剛	蔣 麗萍	松原 信行
益田 浩子	清水 洋平	林 英樹	堀米 直人	遠藤 剛	鮫島 宗文
藤井 儔子	大石 道夫	水野 恭伸	福田 淳	伊勢戸 徹	松下 武史

〔賛助会員〕

生命誌研究館

先端テクノロジーをサポートする日京テクノス(株)

三菱化学生命科学研究所

明治乳業(株)ヘルスサイエンス研究所

〒569 -1125	高槻市紫町1-1 TEL 0726-81-9750
〒113 -0033	文京区本郷2-17-8鈴木ビル TEL 03-3814-2066
〒194 -8511	町田市南大谷11号 TEL 0427-24-6226
〒250 -0862	小田原市成田540 TEL 0465-37-3661

日本発生生物学会への入会について

同封の「申し込み票」および「会員カード」に必要事項を御記入の上、日本学会事務センター宛お届け下さい。

ご参考までに学会事業の内容をお知らせ致します。

a) 学会誌の刊行

Development, Growth & Differentiation

年1巻、6冊刊行

b) 年1回、研究発表のほか、招待講演、シンポジウムなどがあり、また、会則による総会が開かれます。大会講演要旨集が予め全会員に配布されます。

c) インフォメーション・サーキュラー

大会の予告、予算案、決算、運営委員会の報告など、学会の事業の連絡やその他会員の消息、関連学会の動きなどを登載したサーキュラーが年3～4回配布されます

d) 和文単行書の編集

学会内の委員会の企画により、単行書を編集し刊行しています。会員は（刊行後一定期間に限り）割引価格で購入できます。既刊分は「発生における制御」「初期発生における細胞」「エイジングの生物学」「動物の器官形成」「受精の生物学」「変態の生物学」「発生における分子識別」です。

なお、会費は前納制です。前年度末までに、次年度の会費をご納入下さい。

会費、発送物、入退会、住所変更に関する問い合わせ先は

〒113 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

(財)日本学会事務センター 日本発生生物学会 係

TEL 03-5814-5810

学生の方は、学生証のコピーを添付して、お申込み下さい。

なお学生資格は、学部学生、大学院生、及び大学、研究所等で、学生証あるいはそれに準ずる証明書を有する学生、研究生等です。

一切り取り線

日本発生生物学会入会申し込み票

(年 月 日)

氏名	氏名ローマ字綴り (フル・ネーム)
研究主題 (もしくは関心のあるテーマ)	所属機関名とその所在地
	(電話 内線) (〒)
研究材料名 (和名・学名など)	(ファックス) eメールアドレス 上記以外に連絡を希望される場合の連絡場所 (自宅の場合は自記入のこと)
	(〒)
会への要望	

(I) 会員カードの記入要領

1. 会員カードはすべてコンピューターに記憶させますので楷書ではっきり記入して下さい。また指定箇所には、「フリガナ」または「ローマ字」で記入して下さい。
2. 氏名は点線の左側に姓、右側に名を記入して下さい。
3. 郵便番号は所定の欄に記入して下さい。
4. 所属機関の名称は原則として、大学の場合には学部・学科まで、会社等の場合には部・課までを記入して下さい。
5. 学歴は最終卒業学校名、卒業年（西暦）を記入して下さい。
修士・博士課程在学中の方は研究科、課程まで、学部在学中の方は在学学校名、在学学年を記入して下さい。
6. 性別・専門・連絡先（＝会誌等送付先）・会員種別については、該当するものを○でかこんで下さい。
7. 本会の会計年度は、1月～12月です。入会年度を所定の欄に必ず記入して下さい。
8. ＊印の欄には記入しないで下さい。

(II) 会費の送金方法について

1. 会員カードを返送していただいてから1か月以内に請求書を発行しますので最寄りの郵便局または銀行よりお振り込み下さい。

(注) 現住所、所属機関等、会員カードの記載事項に変更があった場合はただちに、書面でご連絡下さい。

入会申込書は必ずご返送下さい。

財団法人 日本学会事務センター

日本発生物学会会員係

〒133-8622 東京都文京区本駒込5-16-9

学会センターC21

TEL 03-5814-5810

賛助会員へのご入会のお願い

日本発生生物学会
会長 竹市 雅俊

近年、ライフサイエンス、バイオテクノロジー等の言葉が広く語られ、生物学に大きな関心と注目が払われるようになってまいりました。

日本発生生物学会は、発生生物学の進歩と普及をはかるため設立された学会で、日本を主に、外国の発生学者を混じえて約1,300名を結集しております。発生学は、言うまでもなく医学・農学等の諸分野とも深い関連を有しており、最近とみに進展の著しい遺伝情報発現をめぐる諸問題、癌細胞の基礎的研究、老化の問題等も発生生物学の大きな関心の的になっております。日本発生生物学会は、これらの分野での活発な研究者を会員としております。又、本学会の刊行致しております欧文誌“Development, Growth and Differentiation”(DGD)もこの方面の国際的学術雑誌として高く評価されております。

貴社におかれましては、このような学問の重要性をすでに御承知のことと存じます。何卒、本学会趣旨に御賛同の上、賛助会員として本会を御支援賜りますよう御願ひ申し上げます。

なお、賛助会員は年3回発行される「インフォメーション・サーキュラー」誌上に特記され、本会の刊行する欧・和文刊行物(会員名簿を含む)が配布されます。会費は、一口三万円を申し受けております。御入会の際は、入会申込書を事務局までお送り下さい。

連絡先：日本発生生物学会事務局(八杉貞雄)

〒192-0397 八王子市南大沢1-1

東京都立大学大学院理学研究科生物学教室

TEL 0426-77-2572(直通) FAX 0426-77-2559

-----切-----り-----取-----り-----線-----

日本発生生物学会賛助会員入会申込書

年 月 日

賛助会員として入会の申し込みを致します。

(_____ 口 _____ 円)

住 所

会 社 名

担当者名
電話番号

㊞

広告掲載のお願い

日本発生物学会は理学、医学、薬学、農学をはじめ分子生物学、細胞生物学、遺伝学など、さまざまな生物学分野で発生物学の基礎研究に興味を持つ内外の研究者によって組織されている学会であり、国内外に約1,300人の会員を持っております。

英文学術雑誌 Development, Growth and Differentiation は、日本発生物学会の機関誌で年6回発行し、国内に約1,200部、国外に約600部配布致しております。また会員にはインフォメーション・サーキュラーを年3回配布致しております。

目下、本学会では広告主を募っております。会員各位におかれましても広告主のご紹介等、是非ご協力頂きますようお願い致します。

広 告 料			
D G D 本誌	1 頁	年 6 回	150,000円
	半 頁	〃	78,000円
インフォメーション サーキュラー	1 頁	年 3 回	90,000円
	半 頁	〃	45,000円

尚、サーキュラー用の版下作製代は実費をいただきます。裏表紙は1頁10,000円高となります。

申し込み先：日本発生物学会事務局（八杉貞雄）

〒192-0397 八王子市南大沢1-1

東京都立大学大学院理学研究科生物学教室

TEL 0426-77-2572(直通) FAX 0426-77-2559

e-mail : jsdb@bcasj. or. jp

----- 切 り 取 り 線 -----

広告申し込み書

年 月 日

日本発生物学会 御中

広告の掲載をお願いしたく下記の通り申し込みます。

☐ D G D 本誌	1 頁
☐ 〃	半 頁
☐ サーキュラー	1 頁
☐ 〃	半 頁
住 所	
会 社 名	
担当者名	
電話番号	

アフリカ ツメガエル

澄んだ空気、汚染のない川、
沼の水等、恵まれた自然環境
の下で育った良質のアフリカ
ツメガエル。

使用目的：遺伝子組換、動物
クローン研究、細胞操作、イ
ンターフェロン培養、教材と
して生理・解剖実験に御使用
下さい。

(当養殖場では、水道水を一
切使用しておりません。)



お 問 い 合 わ せ は

養殖 北日本生物教材

代表 三 上 正 義

フリーダイヤル セノパスはクローン

0120-084896

(午前発注：即日発送)(月～金曜日：午前9時～午後5時)

〒036-15

青森県中郡相馬村大字坂市沢113

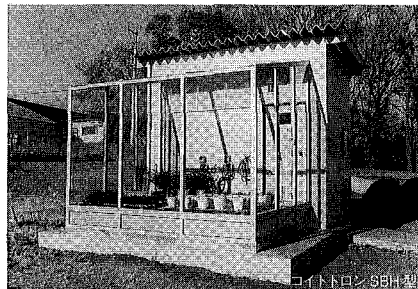
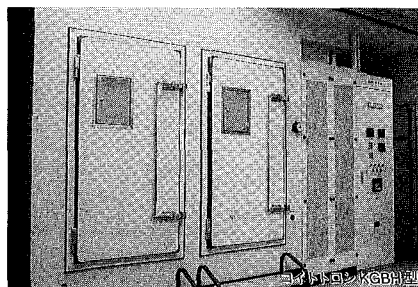
TEL 0172 (84) 3509

FAX 0172 (84) 3510

Kōto
安全と快適を求めて

バイオ関連の試験・研究を バックアップ

小糸工業のバイオハザード対応グロースキャビネットは、
周囲環境の影響を受けずに、圧力コントロールシステムで
実験室内を陰圧に保持します。また、コンパクトで高性能
なフィルターユニットとの組み合わせで、実験対象物への
空気流による外界からの悪影響を遮断、簡単操作をプラス
して、高精度な温・湿度を再現します。



バイオハザード対応グロースキャビネット

コイトトロン

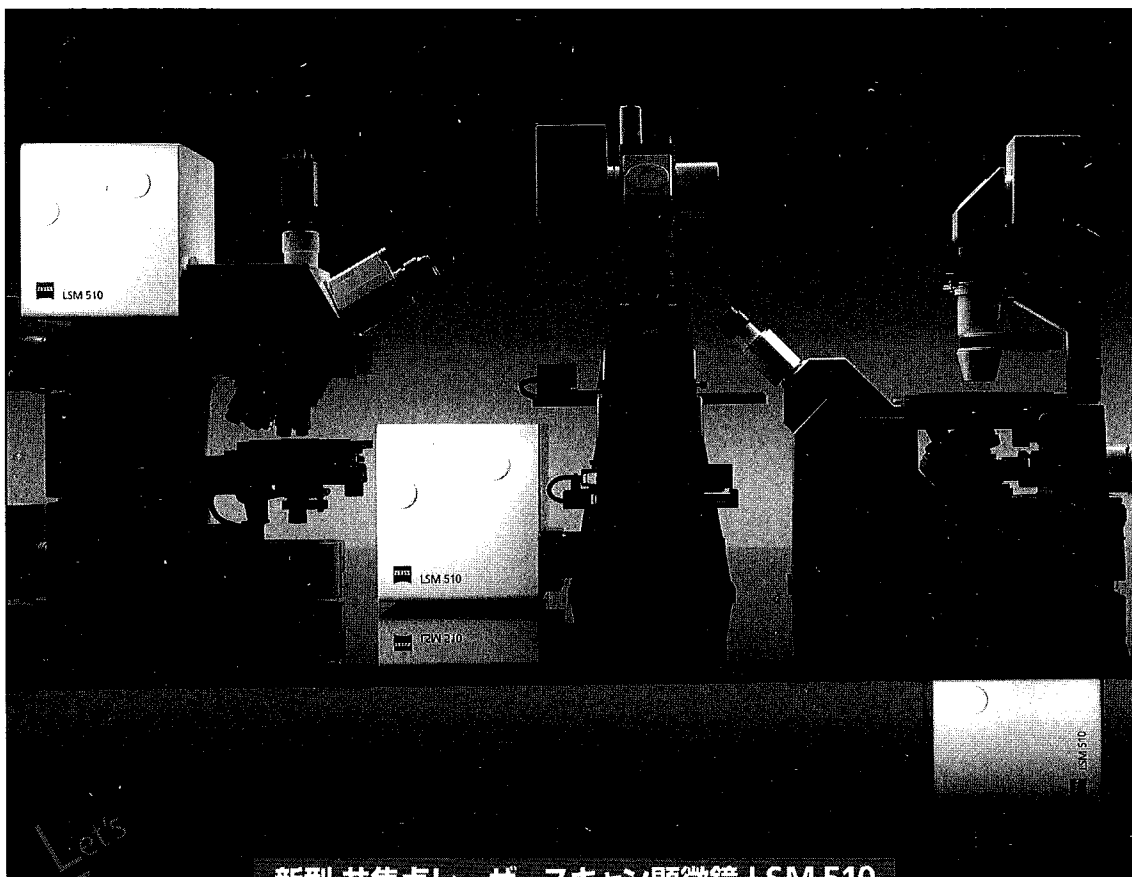
SBH/KGBH シリーズ

小糸工業株式会社

東京本部 〒108 東京都港区高輪3丁目5番23号(日生高輪台ビル) ☎03(3443)9846 FAX.03(3443)6570

札幌 011(722)5211 東北 022(225)7501 大阪 06(263)6371 九州 092(431)0838 筑波 0298(51)2311 沖縄 098(861)1805

Memo



Let's
See
More

新型 共焦点レーザースキャン顕微鏡 LSM 510

コンパクトそして多機能

一点の妥協もなく

あなたが評価するのは柔軟な対応力ですか？それとも最高のテクノロジーでしょうか？

LSM510は、その全てを備えています。

革新的な最高の技術、極めて扱いやすいソフトウェアがもたらす抜群の操作性、コンパクトで交換容易なスキャンングモジュールなど。徹底した妥協を許さない物作りの精神が、ここにあります。

斬新なスキャンング手法

極めてユニークなスキャンング法を採用、スキャンングエリアの設定も自由自在。従って、思いのままの不定形のスキャンが可能です。全ての3D表示、各種測定法と相まって、試料情報を余すところなく表現します。かつて、顕微鏡に抱かれていた様々な期待が、今ここに実現します。

新しい品質基準の画像

蛍光の4ch、同時取得、各ピンホールはコンピュータコントロールされ、2,048×2,048ピクセルの高精細スキャン、4×12bitの高分解能をはじめとして、積算、オーバーサンプリング、フォトンカウンティングなど、LSM510の諸機能は、全て研究者への奉仕にあります。



ドイツ、ツァイスグループ
Carl Zeiss 株式会社 顕微鏡部
〒160-0003 東京都新宿区本塩町22番地
☎03-3355-0332 Fax.03-3358-7554
大阪☎06-282-4322 名古屋☎052-777-1411
福岡☎092-713-7821 仙台☎022-224-5621